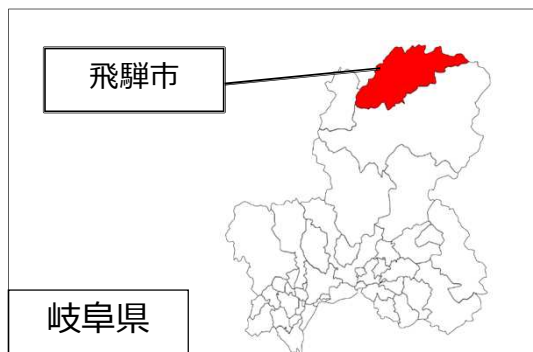


取組のポイント

- ◆ 地域資源としての森林と広葉樹に再度光を当て、伐採から製材、商品開発、製造・販売までを一貫して地域内で行う「広葉樹活用プラットフォーム」の構築に向けて、広葉樹材のストック確保、人材育成、商品開発等を実施。
- ◆ 広葉樹材を使った付加価値の高い製品を開発・販売。商品開発段階からクリエイター等の外部人材と積極的な関係性を築くことで受注機会を創出するとともに、独自性の高い取組を全国へ発信し、交流・関係人口の増加にも寄与。

地区の概要

- ◆ 位置
岐阜県飛騨市



- ◆ 活用した地域資源
森林資源 (広葉樹)
- ◆ 事業実施主体
飛騨市
- ◆ 主な取組団体等
広葉樹のまちづくり円卓会議、
(株)飛騨の森でクマは踊る、
ひだ木フトプロジェクト
- ◆ 事業実施期間
H29～R1

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆ 人材育成を目的としたスイスのフォレスターによる「天然林施業研修会」を開催
- ◆ 通常チップにしかならない小径広葉樹の積極搬出により安定的なストックを確保し、木工職人等が活用できる仕組みを整備



【スイス・フォレスターによる研修会】



【天然林施業と小径材搬出の様子】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆ 市内木工作家等の作り手と連携し、小径広葉樹材を使った新たな商品開発及び販売を進める「ひだ木フト」プロジェクトを展開
- ◆ 取組を全国に伝え、市外の関係者（主に広葉樹の使い手）との新たな関係性をつくる「広葉樹のまちづくりツアー」を開催



【ひだ木フトプロジェクト
小径材による商品群】



【森と地域の在り方を考える
広葉樹のまちづくりツアー】

取組の成果

- ◆ 飛騨市産材を活用した新商品の開発 8点 (玩具、食器、時計等)
- ◆ 木製品の加工販売事業者の売上額 530万円 → 10,915万円 (R1)
- ◆ 林業にかかる雇用増加人数 (素材生産者) 7人 (森林組合による雇用)